

令和4年10月31日

緑小だより

11月号

横浜市立緑小学校



ふれあい 学びあい みとめあう みどりっ子

Mail : y3midori@edu.city.yokohama.jp

URL <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/midori>

緑小学校地域防災拠点防災訓練に参加して!!

学校長 能城 順一

今年の10月は、真夏日の日があったかと思うと師走の寒さのような日もあるなど、寒暖の差が大きい日が繰り返される月でしたので、私のような年齢になると、なかなか体調を整えるのに苦労する日が多かったです。保護者の皆様・地域の皆様は、いかがでしたでしょうか？11月に入ると、少しずつ冬の足音も聞こえてきます。今冬は、報道によると、新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行等の心配な予測もされています。しかし、校長としては、この2年半に渡って培ってきた感染症対策をフル活用しながら、少しずつ戻りつつある教育活動を止めることなく進めていきたいと考えています。

さて、地域の皆様の活動においても戻りつつある活動があります。その一つが、10月2日（日）に実施された「緑小学校地域防災拠点第一回防災訓練」です。この防災訓練も、新型コロナウイルス感染症の影響のためR2・3年度と中止となりましたので、およそ3年ぶりの実施となりました。私も担当の主幹教諭と一緒に、半日参加させていただきました。この日の防災訓練の目的は「新型コロナウイルス感染症防止対策をした避難訓練」の実施です。そこで、私が強く感じた事は、拠点委員の皆様の綿密な計画と迅速な動きです。「綿密な計画」という面言えば、拠点委員の皆様は、コロナ禍で実際の訓練ができなかった2年間の間に、何度も来校されて校内の施設を調べた上で、詳細な「防災拠点運営マニュアル」を作成されました。その完成度は、行政の方も驚くほどの完成度です。その詳細なマニュアルを基に拠点委員の皆様の「迅速な動き」が実現されていたのです。

素早く開設された拠点には、「一般避難者」「発熱者」「濃厚接触者」それぞれの避難者が進む導線と受付が分かりやすい形で別々に用意されました。また、体育館においては、その場で避難者の区割りをするのではなく、予め製作しておいた「区割りシート」を利用することで、短時間で体育館におけるコロナ禍での避難者区割りを終えることができていました。私も管理職として過去5校の地域の防災訓練に参加してきましたが、拠点開設の迅速さや拠点委員の皆様ご自身の役割の理解度という点で、過去参加してきた学校とは比較にならない程の完成度の高さを感じました。本当に素晴らしいことだと思います。

11月20日（日）には、第2回目の訓練が予定されております。私も30代・40代の頃は、子育てと仕事ばかりで、「自分はどうだったか？」と偉そうなことはとても言えないのですが、小学生の保護者の皆様の世代が地域防災訓練に参加していくことは、毎年のように各地で災害が発生している現代、その重要性は高まっていると考えます。本校が防災拠点の地域の保護者の皆様、予定が合うようでしたら、ぜひ防災訓練に参加してみてください。

11月は、6年生の修学旅行や4年生のバレー鑑賞、2年生の遠足と、大きな校外での学習が目白押しです。特に6年生は、コロナの影響で、小学校生活における最初で最後の宿泊学習となります。担当学年は「綿密な計画」を立てて、打ち合わせを繰り返しております。私たち教職員一同、安全で安心な「実りの秋」となるよう教育活動を進めて参ります。保護者の皆様・地域の皆様、引き続きの温かいご支援をよろしくお願いいたします。